

第3回 行財政改革懇談会 会議録

1. 開催日時 令和2年10月22日（木）午前10時30分～午前11時40分
2. 開催場所 Web会議システムを使用
3. 出席者 委員9名《石原会長、入江副会長、岩城委員、江坂委員、川本委員、西郷委員、酒井委員、塩瀬委員、高津委員》
豊橋市7名《稲田総務部長、黒釜財務部長、前田行政課長、浅野財政課長、戸苺行政課長補佐》
4. 欠席者 市川委員
5. 傍聴者 0名
6. 会議概要 以下のとおり

R2.10.22 午前10時30分より

発言者	要 旨
事務局 (行政課課長補佐)	<p>本日はお忙しい中、懇談会にご参加いただきありがとうございます。ただ今より第3回行財政改革懇談会を開催します。なお、本日は市川委員から欠席のご連絡をいただいております。それでは、石原会長に進行をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
石原会長	<p>ただいまから、第3回豊橋市行財政改革懇談会を開催します。議事の「行財政改革懇談会の意見書（案）について」、事務局から意見書案の説明をいただき、その後、質疑及び意見交換を行いたいと思います。それでは事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (行政課長)	<p>資料＜豊橋市における行財政改革への意見書（案）＞について説明</p>
石原会長	<p>今回の意見書は、前回の意見書を踏まえただけでなく、行財政改革自体を目的としないよう、あくまでも市民サービスの向上を目的として将来を見据えて行う改革であることを明確に書きました。</p> <p>その点を踏まえて、財政調整基金や公共施設の問題などを整理しました。意見書の案にご質問や意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>

発言者	要 旨
委員	<p>意見書案を読み、市民に行財政改革についてこのように議論されていることを知ってもらうため、積極的に懇談会について情報開示してみてもどうかと思いました。</p> <p>また、5年前の意見書と比べて、コンパクトになったという感想を持ちました。同時に少し熱量が弱くなっているのではないかと思います。市民に寄り添うといった表現を加えてもいいかと思います。</p> <p>最近近隣市の市長選挙で、現金給付を行うという公約を掲げた候補が当選したことにより、健全な財政とは何かということが話題となっています。財政問題について市民に問題提起をしても良いのかなと思いました。</p>
委員	<p>一点、適正な指標を示して行財政改革の結果をしっかりと出すことを促すような意見も入れて欲しいと思います。</p>
委員	<p>財政運営について、産業振興や財政基盤の強化といったことが書いてありますが、もう少し具体的なことを書いた方がいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>全体的にコンパクトにまとまっていると感じました。</p> <p>ただ、豊橋らしさをもっと前面に出した方がいいと考えます。</p> <p>また、「見える化」はツールであって目的ではありませんので、手段であることを明確にした方がいいと思います。</p> <p>公共施設について「学校の最適配置」に関する記述がありますが、施設の利活用についての記述もあった方がいいと思います。</p>
委員	<p>意見書案の最後に子どもや若者等と言った文言が入っていたので、うれしく思いました。ただ、情報提供に関する部分の記述について、市民が受け身となっている表現なのが、気になりました。市民が自らの問題として市の財政を考えて貰うように促す文言を加えてはどうでしょうか。</p>

発言者	要 旨
入江副会長	<p>公共施設・インフラのあり方について、「計画策定で終わることなく、統廃合などの課題解消に向け」という文言がありますが、市民とよく対話をするという文言を入れて欲しいと思います。施設については、市民にも関わっていく問題なので、対話が必要だと思います。</p> <p>人材活用について、これからの時代にあった育成をしていくというようなことを書いていただければと思います。</p>
委員	<p>行財政改革の見える化の部分の記述については具体性が乏しいと思いました。広報の充実化程度で終わってしまうのではないかと危惧します。</p> <p>公共施設とインフラのあり方について、「実施・実行をするべき」と書くべきではないかと思います。</p>
石原会長	<p>委員の皆さんからの意見を整理させていただきます。</p> <p>まず、豊橋らしさについての記載が不足しているという意見です。豊橋らしさとは、私のような市外の人間から見ると、自動車の輸出入をはじめ産業が活発だという点です。その点から産業の振興について、もう少し書いていこうと思います。</p> <p>続いて、行財政改革の見える化については、市民の主体性という意見も踏まえて、主体的に行動する市民と連携していくというイメージで表現できればと思います。</p> <p>公共施設については、市民との対話が必要だという点を踏まえて意見書案を修正したいと思います。</p> <p>市側から、意見等ありましたら、発言してください。</p>
総務部長	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>まず、豊橋らしさについては、産業構造のバランスが良い、市内に3大学所在しているなど、様々な面での「らしさ」を持っていると思います。ただ今の議論を受けて、「豊橋らしさ」をあらためて認識しました。</p> <p>行財政改革の見える化については、見える化をされたらどうなるかというイメージを持ちながらプランを策定してまいりたいと思います。</p>

発言者	要 旨
財務部長	<p>先ほど、委員から公共施設の対話について意見をいただきました。昨年度、豊橋市は市内の全小学校校区で意見交換会を開催しました。意見交換会では、公民館の機能を学校に将来的に統合することを考えているということをお話させてもらい、市民の皆様から概ね了承をいただきました。</p> <p>今後1施設複合化モデルに着手するという目標を立てています。この施設をモデルとして市民にお示しできればと思います。</p> <p>また、産業振興については、産業に対して効果的な支援をして企業に利益を上げてもらうというのが基本的スタンスです。他にも企業版ふるさと納税を活用するようなことを考えています。</p>
石原会長	<p>私の勤務場所がある西宮市は、豊橋市と同じ中核市ですが、文教都市と住宅街なので産業があまりありません。よって市として稼ぐ施策を打ち出すことがなかなか難しいです。大学等を誘致するにしても、西宮市には土地もありません、対して豊橋市は産業振興策をして税源を涵養し財政再建を図ること施策を打ち出すことができます。そこは外から見ると豊橋らしさと言えるのではないかと思います。</p> <p>続きまして、新たな行財政改革プランの指標について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (行政課長 財政課長)	資料<新たな行財政改革プランの指標について>について説明
石原会長	今の説明に対して質問や意見等ございますか。
委員	<p>歳入確保の具体的な取組としてふるさと寄附金の増加について書かれています。ふるさと寄附金を得ることは短期的には有効だと思いますが、ふるさと寄附の制度自体が政府の施策の変更により影響を受けるので、やはり市税そのものが増えるように産業振興に重点を置いて欲しいと思います。</p>

発言者	要 旨
石原会長	<p>先程近隣市の市長選挙で、全市民に5万円を給付するという公約を掲げた候補が当選した話が出ました。その候補は財政調整基金を取り崩して賄うと主張しています。豊橋市は、標準財政規模の10%となる75億円を財政調整基金の残高の目標額として目指すとのこと。10%で十分かどうか議論はあるでしょうが、目標としては、一つの区切りとなる数字であり、良いかと思います。</p> <p>また、公共施設についてですが、減らすという表現より適正化を図るという表現が適当ではないかなと思いました。今後施設の更新の問題もあり、市民のライフスタイルが多様化する中、どこまで施設を維持しサービスを提供するのかといった問題もあります。</p> <p>公営企業について、豊橋市の公営企業は順調に運営されているので市民の方は、黒字経営が当たり前だと思われるかもしれませんが。実は豊橋の市民病院は公営企業経営の世界では優等生です。</p>
委員	<p>公共施設の統廃合という話がありました。公共というPublicという訳があてられていますが、どうしても市民は、官から押し付けられるというような意識があります。</p>
石原会長	<p>そうですね。Publicとは、官庁だけでなく民間を合わせた概念です。民間企業もESG投資等を通じて公共の担い手となっています。</p>
委員	<p>内部統制についてですが、リスクは、業務が変われば、業務の流れが変わってくるので変化をします。現在把握をしているリスクも新しい業務フローにあわせて変えていくという視点があってもいいと思いました。</p>
委員	<p>働き方改革の推進ということで、職員一人あたりの時間外勤務時間数の削減を挙げられています。平均値も重要ですが、職員間での時間外勤務時間数のばらつきもあります。指標に取り入れるかは別として、その点も考えてみてはどうでしょうか。</p>

発言者	要 旨
委員	<p>デジタルトランスフォーメーション（DX）についてですが、行政手続きのオンライン化については賛成ですが、アナログの部分でも改革できることはあるのではないのでしょうか。例えば申請書類の様式の共有化だとか、チェックシートを書類に添付する等の取組で事務の効率化に成功した他自治体の事例もあります。</p> <p>行財政改革の見える化という面でも、これらの取組は市民にわかりやすいのではないのでしょうか。</p>
石原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、今後についてですが、本日いただきました皆様からの意見を網羅的に把握し、会長である私と事務局で調整をさせていただきたいと思いますが、皆様よろしいのでしょうか。</p>
	<p><異議なし></p>
石原会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは事務局から、今後の予定について説明をお願いします。</p>
事務局 (行政課補佐)	<p>ご議論ありがとうございました。</p> <p>次回につきましては、懇談会として意見書を決定し、会長から市へ意見書を提出していただきたいと思います。</p> <p>事務局側の都合で申し訳ありませんが、第4回は11月19日（木）の16時から開催したいと思います。</p> <p>なお、会長以外の委員の皆様は、原則ZOOMでご参加いただくことを考えております。</p>
石原会長	<p>それでは、11月19日（木）の16時00分からということで、お願いします。</p> <p>それでは、他にご発言がなければ、これで本日の懇談会を終了いたします。ありがとうございました。</p>